

汐見台地区

～心通わす汐見台

地区の特性

- 社宅を中心とした大規模な中層住宅団地の街
- 久良岐公園をはじめ豊富な自然がある など

子ども・青少年の居場所づくり、交流をすすめよう；子どもたちの自主企画を大人たちがサポートする

【具体策】

- ・ The汐見台Grew up With us!(大人になろう、私たち)
- ・ 小中学校の生徒会と子どもはぐくみ委員会・自治会連合会の話し合いをもつ。
- ・ チラシや汐見台ニュースの広報でPRする。

【体制など】

- ・ 子どもHAPPY委員会（子どもたちによる自主企画委員会を創設する）／子どもはぐくみ委員会／小中学校、幼稚園、保育園、自治会連合会

高齢者の閉じこもりを予防しよう；世代間で交流できるサロンにする

【具体策】

- ・ 高齢者から子どもまで自由に交流できるサロンとして福祉センターの図書室の活用策をねらう

【体制など】

- ・ 福祉実行委員会／福祉コミュニティ
- ☆世代間の交流をする際、子どもとお年寄りでは動きが違うので工夫が必要。
- ☆参加するとほっとするスタッフ体制になるとよい。

地域にいる人材を掘り起こそう；人材バンクをつくる

【具体策】

- ・ バンクをつくる目的としては、①防災、②防犯、③地域活動PR、④福祉活動の活性化
- ・ 全戸アンケートにて人材を把握する。

【体制など】

- ・ 自治会連合会を中心に検討する。
- ☆すでにさまざまなグループで活躍している人たちがいる。
- ☆定年後のお父さんや若い人も人材として集めたい。

地域の活動をPRしよう；地域活動の情報を収集し、発信する

【具体策】

- ・ 各グループから年間計画、活動内容、予定表、連絡先を取りまとめる。
- ・ テーマ別に年2回情報発信をする。回覧板、階段掲示を活用する。ホームページの立ち上げについても検討していく。情報の管理・更新を行う。

【体制など】

- ・ 自治会連合会事務局

自由に集まれる場所をつくり交流をすすめよう(1)；汐見台小の「地域交流室」を活用する

【具体策】

- ・ 平成17年度中に学校・地域の継続した話し合いの場を立ち上げる。
- ・ 地域住民に、どのように、いつ活用したいかニーズ調査をする。
- ・ 学校・地域で話し合う。(管理責任など取り決めが必要な課題が多い。)
- ・ 先行の地区(根岸小・岡村中)の「地域交流室」の立ち上げの経緯について情報収集する。

【体制など】

- ・ 学校、教育委員会、地域住民で話し合う。学校のイメージと地域のイメージを出し合い、すり合わせる。
- ・ 今後のマンション建設の動きにより小学校の生徒数が増える可能性があり、地域に貸出しできる教室がどれくらいになるかわからない。
- ☆地域住民の集まりを学校内で行うことの目的を共有化することが大切。

自由に集まれる場所をつくり交流をすすめよう(2)；青い鳥会館に代わる場所を確保するための検討

【具体策】

- ・ 長期的に地域拠点確保の方法を考える話し合いの場として設ける。
- ・ 各団体の現状を情報収集・交換する。
- ・ 土地・建物・改装など初期費用の工面について検討する。

【体制など】

- ・ 学童／青い鳥／地域住民（自治会連合会・福祉コミュニティ）
- ・ 検討プロジェクトを立ち上げる。
- ・ 自治会連合会でPRする。